

# 役場の人事

〔4月1日付〕

《特別職》

就任 副町長 吉永博幸（新任）  
教育町 三桝賢一（再任）

《採用》

福祉課 西川 叶介、ポートル  
ス事業局事業課 長沢 裕樹

《異動》（ ）は旧所属

総務課長 本石 美香（生涯学習課長）、企画政策課長 溝上 竜平（住民課長）、財政課長 智田 寛俊（福祉課長）、税務課長 藤永 詩乃美（会計管理者兼会計課長）、住民課長 有田 昌子（税務課税係長）、福祉課長 中野 功明（ポートルス事業局企画課長）、会計管理者兼会計課長 福田 雅代（議会事務局長）、生涯学習課長 水摩 秀徳（税務課長）、議会事務局長 横田 和雄（ポートルス事業局事業課長）、ポートルス事業局企画課長 池上 亮吉（財政課長）、ポートルス事業局事業課長 本郷 宣昭（企画政策課長）

〔3月31日付〕

《退任》

副町長 中西 新吾

《退職》



町ホームページ

佐竹 功、佐竹 康子、濱上 鮎美  
《再任用任期満了》

吉永 博幸

※係長以下の配置異動などは、町のホームページに掲載しています。  
▽問い合わせ 人事係（☎223・3574）

## 新人職員紹介

フレッシュな2人の職員が入庁しました。皆さんから一言ずつ入庁した抱負を聞きました。



福祉課  
西川 叶介

常に謙虚に全ての業務に責任を持ち、町民に寄り添う行役を行えるよう頑張ります。



ポートルス事業局  
長沢 裕樹

新しい仕事に積極的に挑戦し、多くの人の力になれるように精いっぱい取り組みます。

## 差別をなくすために 第491号

芦屋町人権・同和教育研究協議会

▷問い合わせ 社会教育係（☎223・3546）

### 高齢者を守る人権と悪質商法・特殊詐欺への対策

高齢化が進み、高齢者が地域で安心して暮らし続けるための人権保障が、ますます重要な課題となっています。高齢者の人権問題は、身体的・精神的虐待だけでなく、悪徳商法や特殊詐欺など、財産や尊厳を脅かす被害としても表面化しています。これらの被害は決して他人事ではなく、誰もが当事者となり得る問題です。

悪徳商法には、訪問販売や電話勧誘による高額商品の押し売り、無料点検を装った不必要な工事の契約、健康不安につけ込むサプリメント販売などがあります。一方、特殊詐欺では、親族や公的機関を名乗り「お金が必要」「還付金がある」と不安や焦りをあおり、冷静な判断力を奪う手口が後を絶ちません。こうした行為は、高齢者の判断力や孤立につけ込むものであり、重大な人権侵害と言えます。

被害に遭わないためには、まず「うまい話は疑う」「その場で決めない」ことが大切です。電話や訪問での勧誘は、一度断っても構いません。少しでも不審に感じた場合は、家族や信頼できる人、消費生活センターに相談することが重要です。また、特殊詐欺対策として、留守番電話の活用や、知らない番号には出ない習慣をつけることも有効です。公的機関が電話やATMで返金手続きを求めることはありません。また、地域での見守りも大切です。日頃から声をかけ合い、生活の変化に気づくことで、被害の未然防止につながります。「自分は大丈夫」と思わず、周囲と情報を共有することが、高齢者の尊厳と安心を守る力となります。

高齢者が安心して暮らせる社会は、誰もが将来に希望を持てる社会です。一人ひとりが人権意識を高め、地域全体で支え合うことが、悪質な被害を防ぐ最も確かな対策です。

# 芦屋歴史紀行

その三百六十

今年の大河ドラマは、豊臣秀吉の弟、豊臣秀長が主人公です。では、豊臣秀長が生きた時代の芦屋はどうだったのでしょうか。2回目は、大内氏の滅亡と麻生氏の衰退を介します。

## ●大内氏の滅亡

天文20（1551）年、大内義隆が陶隆房の謀反により、自害します。この事件によって、大内氏の勢力が大きく弱まることとなります。義隆の後を継いだのが、大友義鎮（宗麟）の実弟である、大内義長でした。義鎮は、大内氏出身の母を持つ義長を使い、筑前や長州の支配を狙います。しかし、弘治3（1557）年、義長は毛利氏によって、自害に追い込まれます。これにより、大内氏が滅亡することとなります。

## ●麻生氏に起きた大事件

大内氏が滅亡し、永祿2（1559）年、筑前国の守護に義鎮が任命されます。そして、北九州を実効支配するため、攻略を開始します。麻

生氏は、花尾城（八幡東区）において大友氏と戦いますが、まもなく陥落します。

金台寺（西浜町）には、同じ年に麻生氏に起きた事件を記した古文書があります。古文書には、永祿2年9月26日に麻生次郎が切腹し、母、乳母、妹などが後を追って自害、また家来も同じ日に討死したとあります。「麻生次郎」が一体誰なのか、これは諸説あり、現在もはっきりとは分かっていません。しかし、この事件以降、麻生氏は弱体化していったのです。永祿3（1560）年、織田信長と今川義元が戦った「桶狭間の戦い」の前年の出来事でした。

## ●旧芦屋小学校遺跡と金台寺

現在の芦屋町役場のあたりに、旧芦屋小学校遺跡という遺跡があります。昭和46（1971）年、役場庁



△旧芦屋小学校遺跡 石塁

舎建設のため工事を進めていると、東西54メートルに及ぶ巨大な石塁が発見されました。この石塁は、昔の金台寺のものではないかと言われています。

金台寺の古文書には、寺院が大破して放棄に近い姿であったものを、正保（1644～1648）のころに一段高い西側の現在地に移し再興したと書かれています。寺院が大破した理由は、麻生氏が弱体化した戦国時代の戦乱にあると考えることができます。

また、天正3（1575）年には、大きな伽藍を備えた大寺院であった安楽院（岡垣町吉木）が、大友氏の攻撃により焼失しています。同じ吉木に、岡城という城があり、こちら麻生氏が城主でしたが、大友氏の家臣となった瓜生氏に攻め落とされています。

金台寺や安楽院など、大きなお寺が、大破・焼失したことから、大内氏滅亡後の北九州の情勢の不安定さを知ることができます。

（芦屋歴史の里）

## 編集後記

▼4月1日でシティプロモーション係を去ることとなりました。4年間という長いようで短い期間でしたがとても充実した広報担当生活でした。思い返せば芦屋町役場に入庁してから色々なイベントや行事をとおして町民の皆さんの思いを取材でき、芦屋町の新しい魅力をたくさん発見できたと思っています。1年目の取材ではなかなか笑顔の写真を撮ることができず、悩んだこともありましたが日が経つごとに皆さんの素晴らしい表情の写真を撮ることができました。また、砂像展で色々な人に声をかけたり、町民体育祭ではグラウンドを走り回って写真を撮ったりなど心に残っているものを挙げればきりがありませんが、一番は町民の皆さんの色々な表情を見ることができたことだと思っています。新しい部署になっても広報担当として学んだことを生かして頑張ってくださいたいと思います。広報あしやを読んでくださっている皆さん、ありがとうございます。（手塚）

